



いきいき わくわく そろって のびよう



いわさのっ子

2022(令和4)年9月26日 NO.5

発行責任者 校長 川田 朋子



2学期が始まってもしっかり暑い暑さが続いていましたが、田んぼの稲の色づきや彼岸花が目にとまるようになり、また朝晩の涼しさからも秋の気配を感じるようになってきました。



2学期も、新型コロナウイルス感染症の心配が続く中でのスタートとなりましたが、先日は5年生が3年ぶりに曾爾野外活動を実施し、宿泊を含めて活動することができました。2学期はたくさんの行事を予定しています。それぞれの行事や教育活動に向けて、目標をもって一生懸命取り組むことは、子どもたちの大きな成長につながります。今までと変わらない感染予防対策をしっかりと行いながら教育活動を進めていくことを子ども達とも確認しています。今後も、まずは体調管理、感染症対策に留意いただき、もし本人やご家族に体調不良がある場合には、2学期初めに再度お配りしています【児童・生徒が登校する前にチェックしましょう】を確認して対応いただきますようお願いいたします。また、状況により、予定の変更や急なお願いをする場合も想定されますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

運動会について



今年度も、分散実施とします。(児童は全員運動場で応援することとします。)各学年、個人競技・団体競技・団体演技の3種目実施に向けて感染対策に留意しながら練習を重ねています。運動会の観覧につきましては、保護者のみなさまにも我慢いただくことが多々あると思っておりますが、ご協力をお願いいたします。



給食試食会について

昨年度に引き続き、コロナ禍の状況により、給食試食会を中止させていただきます。ご理解をお願いいたします。



お知らせ

出産のためお休みしていました竹園先生が、9月30日より復帰します。

また、養護教諭の長樂先生が出産のため10月11日よりお休みします。後任に、米田名菜先生に来ていただきます。

お知らせ

県陸上記録会が11月に実施される予定ですが、開催時期が学校行事の多い時期であることから参加に向けて練習等の時間の確保が難しいため、本校は不参加とします。ご理解をお願いいたします。



人権教育懇談会

絵本「わたしはあかねこ」から考える

人権教育懇談会を、クラスルーム配信（出版社には、配信前に配信についての許可を得ています。）を利用する方法で実施しました。視聴していただき、またたくさん貴重なご意見や感想をいただき、ありがとうございました。一部、ご意見・感想を掲載させていただきます。



【絵本の内容】

真っ白なしろねこかあさんと真っ黒なくろねことうさんから生まれた子猫の中に、1匹だけあかいねこが生まれました。周りとは違うからという事でみんな心配して同情ばかり。でもあかねこは、きれいでかわいい自分の色が好き。自分だけ違うという事は少し切なくて心配な気持ちになるけれど、大切なことは、自分が好きかどうか。あかねこは自分が好きだから、納得のいく道を自分で切り開いていきます。

【ご意見、感想】

- 人でも動物でもそれぞれの個性があって、良いと思う。それをどう活かすか、周りの人も自分もその人の個性を大事にするべき。1日1日を当たり前のように生きていけていることを幸せだと思えたらいい。1人1人いろいろな人がいるからこそ楽しい。
- 子どもと一緒に視聴させていただきました。親の気持ちとして、他の子と違っていたらいじめられたりからかわれたりしたらかわいそうだから、私も白色に変えてあげたくなるだろうなど正直思ってしまいました。けれど、子どもに感想を聞くと「自分だけ赤色だとレアでカッコいい」「お母さんが白色に変えようとしてきたら嫌」と話してくれました。つつい他の子と同じほうが安心、目立たないようにしたいと考えてしまいますが、本人がかっこいいと思っているならその気持ちを大切にしていけないなど気づかされました。
- 「違うからおもしろい」違う事ばかり、同じところばかりに目を向けるのではなく、ありのままの自分や友達を受け入れられる、心の強さをもった人になりたいし、我が子もそう育ててほしいと願っています。悪いところよりも良いところをたくさん見付けられる目も身につけてほしいと思っています。
- 人と違って応援してやりたい気持ちはやまやまですが、違いがあることに不安を感じ心配する気持ちの方が強いように思います。親自身や世間が温かく見守る気持ちのゆとりや知識を増やしていくべきだと思います。誰もがこの「あかねこ」のように強くたくましく自分に自信をもって生きていけるような世の中であればいいと思います。
- つい無意識のうちに自分の価値観を押し付けていることに自分で気づけてないこともあるので、改めて思い直させられました。あかねこちゃんは強い心をもって、自分の価値観を見失うことはなかったけど、みんなに認めてもらえずかわいそうと決めつけられて寂しかったと思います。この本をきっかけに、自分が良いと思うことを大切にすること、そして他の人の良いと思うことも大切にしたいと改めて考えさせられました。
- 1人1人の良い所を伸ばし合って、1人1人のダメ(苦手)な所を補い合って、認め合って、お友達みんなが笑顔で穏やかに成長してほしいなと思いました。あかねこちゃんはあかねこちゃんのままでいい。人も同じだと。自分に自信と誇りを持って生きてほしいです。
- インターネットやSNSなどで周りや自分を比べてしまう機会が昔に比べて多くなったように感じます。そんな世の中でも、自分らしさや個性を大切に自分らしく生きていくのは大切な事だと思いました。誰かに認めてもらうことばかりでなく、自分が自分自身を認めて自信をもって生きていけたらと思います。
- 「個性」と一言と言っても、それに対する捉え方は様々あると思います。「人」について一面を見るのではなく、多面的に見ることが大切だと感じました。様々な個性が認められる時代だからこそ、人を多面的に認められるようになりたいと思います。
- 皆と同じでないと不安になり、違うと思う事でも周りや合わせようとする年頃なので、自分らしさを忘れず、個性を大切に、お友達や周りの子の個性も認め合っていけるよう家でも話していこうと思いました。

みんなとちがうことを心配するより、本当はどうしたいか、どうありたいかを知ろうとし、それを応援することが人を大切にすることなのかもしれません。それは、周りの人に対しても、自分自身に対してもあてはまるのではないのでしょうか。互いの個性を認め合い、互いを大切にしていけるにはどう行動すればいいのかを、絵本からも、皆様から頂いた感想やご意見からも考えることができました。ありがとうございました。

